

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 149

# 文化服装学院 2019 年自主制作最終審査会が...



タイトルだけだと何の審査会か分かりませんが 文化服装学院とニッセンケンがコラボして取り組んでいる高視認性の子ども服を学生さんたちがチームを組んでコンセプトやデザインを考えて製品まで制作するという内容になっています。2017 年から始まって 3 年目となるのですが 毎年新しい発想の作品が見られます。

“高視認性の子ども服”というのは子ども服に視認性の高い“再帰性反射材”や“蛍光素材”を取り入れて子どもたちのための「かわいい かっこいい 着たくなる」

をテーマにした子ども服のことです。蛍光素材はこれまでポリエステル生地だけだったのですが 今回は蛍光顔料メーカーの協力で蛍光塗料と蓄光塗料も使えることになりました。



文化服装学院の対象となるのはファッション工科専門課程ファッション工科基礎科 1 年生の学生さんたちです。2019 年度取組の流れを紹介しておきますと

5 月 30 日	授業・・・子ども・児童用高視認性安全服等の意義、規格に関する授業。
7 月 5 日	プレゼンテーション・・・作品制作を控え、学生が市場調査の結果や安全服のデザインに関するプレゼンテーションを実施。この後、実際の制作に着手。
11 月 3～5 日	文化祭・・・完成した作品を展示。一般来場者による人気投票を実施。
11 月 27 日	最終審査会・・・文化祭での人気投票で 10 位までに入った作品を対象にした最終審査会。各学生がプレゼンテーションし、最優秀作品等を決定。

7 月のプレゼンテーションには各クラス 3 チームで 7 クラス 計 21 チーム 80 名の参加となりました。ちょっと話は逸れますがこのファッション工科基礎科は取組がはじまった 2017 年は 5 クラスで昨年の 2018 年は 6 クラスそして今年の 2019 年は 7 クラスとなっています。ひとつクラスの人数を減らしているわけではなく 55 人前後で構成されているクラスがひとつずつ増えているのです。この少子化の時代に人気の高い学校 学科ということになります。取組最初の授業は筆者が担当しているのですが 今年 420 人超えの大講義室で講義をさせていただきました。これも貴重な経験となりました。

今年の特徴としては色については 最も視認性の高いといわれている蛍光イエローや蛍光オレンジを使ったものが少なくなっている印象がありました。本来の子ども服の可愛らしさやカッコよさがあくまでベースとなっていてうまくデザインされているという印象でした。反射材の使い方もデザインに馴染むように取り入れて使い方の上手さに感心してしまいます。そしてアイテムなのですが 最終審査に残った 10 チームのうちレインウェアを提案している



文化祭での展示の様子

のが 6 チームあり 人気投票では レインウェア人気が高いのか必要性を感じているのか特徴的な結果となりました。初回も 2 回目もグランプリはレインウェアだったので 3 年連続で レインウェアが 1 位になるのではと気になっていました。

反射材メーカーを喜ばすプレゼンがあったのが 再帰性反射材は劣化するのがはやいという業界の問題点をダメージファッションとして取り入れ着用とともに劣化の経緯をファッションとして楽しむという提案がありました。普段反射材の劣化でクレーム対応している関係者にとっては新発想で新鮮な気持ちになりました。消費者の理解も必要ですが面白い発想です。またひもを使った作品も子ども服にひもは使われない傾向の中で 可愛らしさを表現するのにひもを取り入れながら ちゃんと 150 mmで留めたデザインにしていると発表を聞いたときにはひもの安全の講義もちゃんと理解していると嬉しくなりました。

## 最終審査結果・・・

さて 最終審査会まで残った 10 チームの作品とその結果は

### 1 位 vecchio

(一財) ニッセンケン品質評価センター理事長賞



### 2 位 天気と安全と子供服



3位 Japanese Rainwear



(一財) 日本交通安全教育普及協会特別賞  
安全性を考慮した子ども服



最終審査参加者に 2019 年ニッセンケン蓄光エコバッグ



デザイン：  
ニッセンケン  
東京事業所 試験課  
本木ちはる

ことしはうさぎさん  
のデザインです。

今回もマスコミ取材やアパレルメーカーからの問い合わせもありました。本来 作業事故削減のために作成された JIS T 8127 高視認性安全服規格が子どもたちの交通事故削減を目的として JATRAS-001 児童向け高視認性安全服の規格の制定に至り その意識をもってカジュアルな子ども服にも高視認性の素材を取り入れようという文化服装学院とニッセンケンの

## 結果発表後の取材の様子



コラボレーションは話題にもなり 子ども服メーカーや学童ユニフォームメーカーなども注目されるようになってきました。来年も継続の方向で進めていくようですので興味を持っていただいた方々は恒例行事として楽しみにしていただきたいと思います。

今回も蛍光生地を提供してくださった 東レ株式会社さま 再帰性反射材の提供をしてくださった ユニチカスパークライト株式会社さま 蛍光塗料と蓄光塗料の提供をいただいた シンロイヒ株式会社さま 量が増える中で対応いただき感謝しております。今回審査員をつとめていただいたみなさまお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

## 審査をしていただいた団体名

- ・ (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
- ・ 主婦連合会
- ・ (一社)日本高視認性安全服研究所
- ・ 東レ株式会社
- ・ シンロイヒ株式会社
- ・ 株式会社ナルミヤインターナショナル
- ・ 株式会社 Knot
- ・ (一財)ニッセンケン品質評価センター
- ・ (一財)日本交通安全教育普及協会
- ・ ユニチカスパークライト株式会社
- ・ ミドリ安全株式会社
- ・ (学校法人)文化学園 文化服装学院

原稿担当：竹中 直（チョコク）

## ● プログラム ●

時間	内容
9:50～10:00	コラボレーション企画概要・審査会について 審査員紹介
10:00～11:00	審査開始 発表（10チーム×5分）
11:00～11:15	審査
11:15～11:45	審査結果発表・審査員講評
11:45～12:15	取材対応等
12:15～12:30	片付け



## ● 発表順番 ●

	テーマ	メンバー				
1	成長と共に変化する レインウェア	大和田 水空	井上 なみ	岡本 陽奈		
2	雲の上のカウボーイズ	カ テイ	コウ ケンホウ	ジョ シカ	リ ギョクレイ	
3	雨の日でもルンルン♪ 安全！楽しい！ テルテルポンチョ	山田 智里	望月 知美			
4	ハッピーハロウィン クリスマス	吉永 滯希	前田 陽	望月 優作		
5	Japanese Rainwear	前川 陽香	小澤 小町	坂齊 莉央	羽矢 桃子	伊藤 佳那実
6	天気と安全と子供服	阿部 奏子	土屋 森	池本 駿斗	イ チャンミン	工藤 滯果
7	将来の夢	庄野 小梅	久高 夏帆	児玉 日菜乃	齋藤 羽蘭	鈴木 優香
8	ocean mates	遠藤 なつみ	中山 乃安	山縣 はる		
9	vecchio	木戸 日向子	久我 凌	近藤 旭	中畑 光貴	
10	安全性を考慮した 子供服	大越 竜哉	北川 紘辰	谷舗 悠人		



※入賞作品はこのページ以前に掲載しています。